

# 第10 産 業 経 済

本県経済は、設備投資や雇用情勢が高い水準を維持するなど回復基調にあったが、令和元年度末には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が抑制されるなど厳しい状況となった。

また、少子高齢化が進み人口減少が大きな課題となる中で、地方創生に向けた取組をより一層進めていく必要があるため、第15次群馬県総合計画や「群馬県産業振興基本計画」に基づき、令和元年度は、「雇用を生み成長し続ける強いぐんまの産業」を目指し、次の4つを施策の柱として事業を展開した。

## 第1の柱：「魅力あふれる力強い産業の拠点」として大きく発展

本県のものづくりを支えてきた広く厚い産業基盤と、豊富で多様な農産物などの地域産業資源を活かし、これまで発展してきた輸送機器、食料品などの基幹産業のさらなる発展を図るとともに、イノベーションの促進や、県内企業の生産性向上、企業の生産機能、本社・研究機能の誘致を進めた。

## 第2の柱：新たな時代を築く成長産業を創出・育成

県内産業の活性化や新たな雇用の場の創出を図るため、群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」を完成させた。また、県内全域へコンベンションを誘致するための活動を進めた。

さらに、新たな成長のエンジンとして期待される次世代産業の創出・育成を進め、これまでの基幹産業に加え、複数の産業の峰を持つ強い産業構造の構築に努めた。

## 第3の柱：中小企業・小規模事業者を積極的に支援

中小・小規模事業者の持続的発展のため、「小規模企業振興条例」に基づき、事業者に寄り添った伴走型による支援を進めた。また、喫緊の課題である事業承継に関して、県内中小企業の早期・計画的な承継準備を促す取組を行うとともに、創業機運の醸成や創業から創業後までの伴走支援により、新たな産業活力を生み出すための創業者支援を進めた。

また、ジェトロ群馬貿易情報センター等と連携し、海外ビジネスに挑戦する中小企業の課題解決を図ったほか、ベトナムへ企業訪問団を派遣し、事業展開支援を実施した。

## 第4の柱：オール群馬で「魅力あふれる観光県ぐんま」を推進

本県の豊かな観光資源を磨き上げ、情報発信や観光人材の育成、外国人観光客の誘客を進めるとともに、県産品の認知度向上と販路拡大を図り、県民総参加による観光振興を推進して、交流人口の増加と消費の拡大により経済が大きく活性化する「魅力あふれる観光県ぐんま」の取組を進めた。

また、2020年4～6月に開催される「群馬デスティネーションキャンペーン」に向け、各市町村や観光関係者が連携し、広報宣伝、誘客対策、受入体制整備を進めた。

### 〈令和元年度 主要施策〉

- 1 「魅力あふれる力強い産業の拠点」として大きく発展
- 2 新たな時代を築く成長産業を創出・育成
- 3 中小企業・小規模事業者を積極的に支援
- 4 オール群馬で「魅力あふれる観光県ぐんま」を推進

# 1 産業政策費

## (1) 社会参加費

決算額 1,672千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聞き県政に反映するとともに、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体との会合に伴う会費等を支出した。

所 属 数	金 額
産業経済部 9 課 7 所	1,672千円

## (2) 産業政策企画推進

決算額 117,027千円

### ① 産業情報収集・サポートガイド作成

ア 経済産業省等の発表資料や、県内中小企業・関係団体に関わる情報を収集、分析し、県内経済の状況を把握したほか、県内中小企業の経営実態や将来の見通し等を把握するため、経済団体(中小企業団体中央会、商工会議所連合会、商工会連合会)等と協力して、アンケート調査を実施した。

イ 県や国等の中小企業支援施策、制度を網羅した「企業サポートガイド」を作成した。なお、作成にあたっては、県以外に作成を希望する関係経済団体等と共同で発注することによって印刷製本単価を縮減した。

事 業 名	事 業 費
「企業サポートガイド」作成 (2,706部)	316千円

### ② 群馬県産業支援機構

#### ア 運営費補助

中小企業の中核的支援機関である(公財)群馬県産業支援機構の運営費を助成し、中小企業経営力強化、地域経済の活性化を図った。

事 業 名	補 助 金 額
(公財)群馬県産業支援機構運営費補助	115,009千円

#### イ 群馬県産業支援機構を活用した経営支援

中小企業の中核的な支援機関として、中小企業の経営力強化及び地域経済の活性化に向けて幅広い分野における支援活動を実施した。

#### ・令和元年度事業実績 (主な事業)

区 分	内 容
経 営 支 援	経営総合相談窓口運営(相談1,349件)、専門家派遣(16社、66回)、よろず支援拠点(相談10,306件)、事業引継ぎ支援センター(相談217件、成約24件)、創業支援(相談412件)、プロフェッショナル人材戦略拠点(相談215件、成約49件)、中小企業再生支援協議会(相談44件、再生計画策定実績30件)
取 引 開 拓 支 援	下請取引あっせん(紹介373件、成立37件)、広域商談会(受注商談251件)・個別商談会(商談126件)の開催、展示会出展支援(2回、46社)、下請取引適正化事業(相談149件)
ものづくり技術・産学連携支援	群馬ものづくり現場新人研修(3回、130人)、IoT・AI等普及促進支援(相談115社)、戦略的基盤技術高度化支援(3件)

(3) 被災中小企業支援 決算額 10,568千円

令和元年10月に発生した台風19号により、被害を受けた県内中小企業者に対して、事業再建に必要な機械設備の購入費等を補助することで、いち早い復旧を図った。  
 なお、令和元年度は、令和2年3月末までに事業完了したものを対象とした。

件数	補助金額
3件	10,568千円

(4) 中小企業連携組織対策 決算額 134,788千円

群馬県中小企業団体中央会に人件費（指導員19人、職員2人）を補助し、中小企業の組織化及び事業協同組合等への指導（実地指導1,253件、窓口指導1,769件）を行うとともに、同会が行う研修会、実務講習会、機関誌の発行等に補助を行い、同会会員の人材育成や経営力強化などを支援した。

- ・組合設立認可数 6組合
- ・研修会、講習会 48回開催 延べ1,360人参加
- ・景況調査（4回：県内中小企業500社を対象）
- ・機関誌「中小企業ぐんま」の発行12回

事業名	補助金額
群馬県中小企業連携組織対策事業費補助金	134,788千円

(5) 小規模事業対策 決算額 1,923,650千円

① 小規模事業経営支援事業費補助

商工会・商工会議所が行う経営改善普及事業等及び商工会連合会が行う商工会指導事業等に助成し、小規模事業者の振興と経営の安定を図った。

主な事業活動の内容は、次のとおり。

- ・金融、税務、経理、販売管理、労務、技術の改善その他経営に関する指導等
- ・小規模事業者の経営の改善発達に資する地域の活性化又は商工業の振興に関する事業の実施、協力、指導
- ・経営、技術、各種制度等に関する情報、資料の収集及び提供

令和元年度における主な事業実績等は以下のとおり。

- ・補助対象職員設置数 （平成31年4月1日現在）

区分	団体数	経営指導員等	補助員	経営支援員	事務局長
商工会	43団体	93人	人	72人	30人
商工会議所	10	70	22		3
商工会連合会	1	14		4	
計	54	177	22	76	33

- ・相談・指導実績

区分	指導件数			講習会・講演会等	
	巡回指導	窓口指導	創業指導	開催回数	参加者数
商工会	31,930件	27,620件	190件	789回	11,478人
商工会議所	14,688	16,803	197	454	6,041
商工会連合会	1,051	544	20	5	629
計	47,669	44,967	407	1,248	18,148

・補助金額

区 分	補助金額
商 工 会	955,959千円
商 工 会 議 所	483,732
商 工 会 連 合 会	166,339
計	1,606,030

② 商工会議所連合会補助

群馬県商工会議所連合会が行う各種研修会等の商工業者振興事業等及び各商工会議所が行う広報活動事業等に助成し、商工会議所連合会及び各商工会議所の健全な育成と振興を図った。

事 業 名	補助金額
群馬県商工会議所連合会補助金	7,002千円

③ 商工貯蓄共済事業貸付

群馬県商工会連合会が行う商工貯蓄共済融資あっせん事業について、商工会会員企業が信用保証協会の保証付きの融資を受ける場合に利用者の保証料の負担軽減を図るため、商工会連合会に資金を無利子で貸し付けた。商工会連合会は同資金を金融機関に預けてその利子を運用し、会員企業が融資を受ける際に保証料の7%を助成し、会員企業の円滑な資金調達を図った。

利 用 件 数：33件、補給金交付額：525千円

事 業 名	事業費
商 工 貯 蓄 共 済 事 業 貸 付 金	300,000千円

④ 中小企業サポーターズ制度

県内の金融機関と、既存の中小企業支援機関との連携による企業支援制度「群馬県中小企業サポーターズ制度」を運営し、きめ細かな中小企業の経営支援を展開することにより、県内中小企業の経営力のさらなる向上を図った。

区 分	件数等
サポーターズ協議会の開催	1回
サポーターズミーティングの開催	1回（231人参加）
サポーター認定状況（令和2年3月31日現在）	676人

(6) 企業誘致推進

決算額 642,018千円

本社機能や試験研究施設の移転、県内企業の投資拡大を促進するため、東京圏、大阪圏での営業、企業誘致推進補助金や地域未来投資促進法等の優遇措置の活用など、積極的な誘致活動を展開した。その結果、令和元年工場立地動向調査において、立地件数（57件）、立地面積（65.1ha）ともに全国第4位の実績に繋がった。

区 分	事業費
情報発信資料の作成配布（パンフレット、企業立地マップ等）	1,726千円
企業誘致専門員の配置（東京）	3,756
企業誘致推進補助金の活用	交付件数 19件 635,227
企業誘致担当職員等（東京、大阪）の活動経費	1,120

(7) 計量検定所

決算額 23,857千円

計量法に基づき、特定計量器の検定及び検査等を実施するとともに、特定計量器を

製造又は使用する事業者に対する立入検査を行い、正確な計量器の供給と適正な計量の確保を図った。

区 分	検定・検査数
検定（タクシーメーター、燃料油メーター、血圧計等）	13,338個
検査（基準器検査、計量証明検査等）	235
立入検査（燃料油メーター、商品量目、届出・登録事業者等）	123戸
「指定定期検査機関」による定期検査	2,418個

## 2 商 政 費

### (1) 貸金業対策

決算額 2,030千円

貸金業法に基づき、資金需要者等の利益の保護を図るため、貸金業者の登録及び立入検査並びに苦情相談の処理を行った。

登録処理数 (うち更新登録)	登録業者数(R元年度末)	立入検査件数	苦情相談処理件数
4件(4件)	9業者	4件	7件

### (2) 中心市街地・商業活性化推進

決算額 6,708千円

- ① 商店街の活性化を図るために商店街団体等が行うソフト事業及びハード事業に対し、市町村を經由して助成を行い、商店街の活性化に寄与した。

#### ・商店街活性化支援（ソフト事業）

市町村名	事業主体	事業費	補助額	事業内容
前橋市	前橋中心商店街協同組合 前橋バルストリート 実行委員会 一般社団法人前橋まちなかエージェンシー	千円 2,011	千円 668	まちなか活性化イベント等（計3事業）
館林市	かごめ通り商店街	531	176	まちなか活性化イベント（計1事業）
館林市	館林商工会議所	8,020	2,500	リノベーションまちづくり事業（計1事業）
合 計		10,562	3,344	

#### ・商店街活性化支援（ハード事業）

市町村名	事業主体	事業費	補助額	事業内容
桐生市	桐生市本町六丁目商店街振興組合	千円 5,251	千円 1,295	アーケード改修（本体改修、照明設備の省電力化）

- ② 買い物弱者支援等に取り組む幅広い関係者の情報交換や連携促進を図るため、買い物弱者支援セミナーを開催した。地域全体で支援のあり方を検討するため、生活支援コーディネーター、市町村職員、企業との情報交換会を関係部局と連携して開催した。

区 分	参加人数
買い物弱者支援セミナー 内 容：講演、事例紹介、参加者同士の交流会 期 日：令和元年9月10日 場 所：群馬会館	70人
買い物弱者支援に係る情報交換会 内 容：講義、事例紹介、情報交換会 期 日：令和2年1月28日 場 所：群馬県立産業技術センター	78

- ③ 地域・まちなかの活性化を図る個人や団体から公募した地域活性化のための事業プラン15件から、公開コンペ形式により2件を選定し、県とクラウドファンディング事業者が連携して、事業化を支援した。

市町村名	事業主体	CF調達額	事業内容
前橋市 高崎市	一般社団法人ソーシャルアクション機構	千円 未実施	免許返納・高齢・障害等の交通弱者が、送迎中のデイサービス送迎車の空席に相乗りすることで、外出できるサービスを実施。
前橋市	nunology	2,116	リンパ浮腫に悩む患者・家族をターゲットにした、オーガニックコットンのシート&ホルダーを作成する。

- ④ 官民連携によるリノベーションまちづくりを推進するため、機運醸成のための講演会を実施した。

区 分	参加人数
ぐんまりノベーションまちづくりセミナー 期 日：令和2年2月12日 場 所：太田市美術館・図書館 講 師：飯石 藍氏（公共R不動産コーディネーター、(株)nest取締役）	95人

- ⑤ 県商店街振興組合連合会が商店街振興組合に対して実施する、組合運営に関する指導、各種研修事業を支援した。

事業主体	事業費	補助額	事業内容
群馬県商店街振興組合連合会	530千円	530千円	指導事業、近代化講習、商店街青年部・女性部研修会

### (3)大型店対策

決算額

731千円

- ① 大規模小売店舗の立地に際し、その周辺地域の生活環境を保持する観点から、「群馬県大規模小売店舗立地審議会」を開催し、大規模小売店舗立地法の趣旨に則って、公平で適正な審査を実施した。

・大規模小売店舗立地法に基づく審査

区 分	届出件数
新 設 案 件	9 件
変 更 案 件 (増床等)	44
廃 止 案 件	3
計	56

- ・群馬県大規模小売店舗立地審議会 令和元年度開催回数 5回
- ・群馬県大規模小売店舗立地審議会現地調査 令和元年度実施回数 11回

② 「大規模小売店舗の地域貢献ガイドライン」に基づき、大規模小売店舗が行う様々な地域貢献活動に係る実施状況報告書等の県への報告を求めており、県ホームページで公開している。

・提出状況（令和2年3月31日時点）

区 分	店 舗 数
地域貢献ガイドライン計画書	63店舗
地域貢献ガイドライン報告書（3年以内（H29～R1）に提出）	44

※対象店舗（店舗面積6,000㎡超の大規模小売店舗）は71店舗

(4) 経営力強化支援

決算額 43,668千円

① 経済環境の変化に対応して、新事業や新分野進出などに取り組み、経営の向上を目指す中小企業を支援するため、中小企業等経営強化法に基づく「経営革新計画」の承認を行った。計画の承認を受けた企業では、「制度融資等支援措置の活用による設備投資、新たな事業活動による受注拡大」のほか、「社外（金融機関、取引先）からの評価の向上」、「社内におけるモチベーションの向上等」の成果が上がっている。

区 分	件 数
経 営 革 新 計 画 の 承 認	29 件

② 東京海上日動火災保険(株)との協定に基づき、県内企業のBCP（事業継続計画）策定支援を行ったほか、中小企業の経営力強化支援の一環として各種セミナーを開催した。

区 分	参加人数
事業継続計画（BCP）セミナー 基礎セミナー	71 人
策定ワークショップ（計5回）	42
実践セミナー	45

③ 創業活動やベンチャー企業の成長、中小企業の経営革新、事業承継、経営改善等を支援するため、きめ細かな相談対応等を行った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
群馬県産業支援機構 事業助成	経営総合相談窓口運営（マネージャー 7人） 窓口相談（1,349件） 専門家派遣（16社、66回）	18,197千円

④ プロフェッショナル人材戦略拠点

ア 潜在的成長力の高い中堅・中小企業を中心に、新商品開発、新規販路開拓をはじめとした新たなチャレンジを積極的に促し、その実現に不可欠となるプロフェッショナル人材の採用をサポートするため、群馬県産業支援機構に「群馬県プロフェッ

「シヨナル人材戦略拠点」を設置し、相談対応やマッチング支援を行った。

区 分	件 数
相談件数	215 件
人材紹介会社への取次件数	123
マッチング成約件数	49

イ 中小企業向けのセミナーを開催し、事業の周知及び攻めの経営を促すための啓発を行った。

区 分	参加人数
新しい人材活用法に関するセミナー	77 人

(5) サービス産業振興・物流機能強化推進

決算額

166千円

- ① キャッシュレス決済やITの基本について学び、今後のビジネス展開の参考となるセミナーを開催した。

区 分	参加人数
第1回 「キャッシュレス・消費者還元事業説明会」 期 日：令和元年8月21日 場 所：群馬県産業技術センター 講 師：経済産業省関東経済産業局 流通・サービス産業課 小林 宏光氏 キャッシュレス・消費者還元制度事務局 古藤 丈次氏	128人
第2回 サービス産業イノベーションセミナー 期 日：令和2年2月14日 場 所：県庁32F 展望ホール 講 師：小僧com株式会社 代表取締役会長 平松 庚三氏	72人

- ② 内陸通関施設を活用した物流改善をテーマとしたセミナーを(株)太田国際貨物ターミナルとの共催により開催した。

区 分	参加人数
群馬県国際物流セミナー 「2020TDM推進プロジェクトと国際物流支援」 期 日：令和2年2月10日 場 所：(株)太田国際貨物ターミナル	82人

- ③ 県内の物流の現状等について、トラック運送事業者、荷主企業双方に対して物流実態調査アンケートを実施した。

区 分	事 業 内 容
物流実態調査 アンケート	調査対象：トラック運送事業者93社、荷主企業121社 調査内容：企業における輸送状況、物流の効率化に向けた取組等 調査期間：令和2年1月31日から令和2年3月6日まで 有効回答数：トラック運送事業者47事業所、荷主29事業所

(6) 創業・事業承継支援

決算額

46,793千円

- ① 創業者のビジネスプランに対して事業化の支援を実施した。



区 分	事 業 内 容	事 業 費
創業プラン実現支援塾	支援を希望する創業者を公募し、講座を開催するとともに、専門家派遣やマッチングなどの支援を実施した。 ・支援創業者10人	84千円

- ② 創業者創出ミーティングを開催し、学生や女性の創業機運醸成を図った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
創業者創出ミーティングの開催	学生や女性が創業者と交流する場として「創業者創出ミーティング」を開催した。 ・高崎経済大学（参加者79名） ・吉井高校（参加者35名） ・県立前橋高校（参加者42名） ・安中総合学園高校（参加者約226名） ・伊勢崎興陽高校（参加者約195名） ・大泉高校（参加者37名） ・高崎商業高校（参加者約273名） ・女性創業者創出ミーティング（参加者32名）	226千円

- ③ 県内中小企業の経営者に事業承継準備に係る「気づき」の機会を提供するとともに、個別課題の整理に向けた専門家派遣を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
事業承継支援	支援機関（商工団体、金融機関、税理士会等）の協力を得て、県内中小企業の経営者に事業承継診断を実施するとともに、個別課題の整理に係る専門家派遣を行った。 ・事業承継診断実施件数7,122件 ・専門家派遣30件	2,316千円

- ④ 創業前後の相談に対して、専門マネージャーによるワンストップでの相談支援等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
創業支援センター運営	創業支援センター運営（創業専門マネージャー1名） ・相談件数412件 ・専門家派遣1件、3日	3,459千円

- ⑤ 地域課題の解決に向け新たに起業する者に対して起業支援金の交付と、起業後のフォローアップにより、創業から事業の安定化に向けた支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
地方創生起業支援	地域課題の解決に向けて新たに起業した者を対象に起業支援金の交付と、起業後の伴走支援を実施。 ・起業支援金26名、33,311千円	40,268千円

### 3 工業振興費

#### (1) 中小企業技術振興対策

決算額 71,441千円

- ① 中小企業の独創的な新技術・新製品開発に対して補助を行うことにより、技術力向上の支援を行った。

区 分	事業者数	対象事業費	補助金額
ぐんま新技術・新製品開発推進補助	43社	96,409千円	42,328千円
次世代産業推進型	4	43,076	21,538
航空宇宙産業推進型	2	18,174	8,050
市町村・県パートナーシップ支援型	37	35,159	12,740

- ② 県内中小企業の航空宇宙産業への参入を促進するとともに、産学官が連携して県内中小企業へのIOT・AI等の導入支援を行った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
航空宇宙産業参入支援	<p>専門家による参入セミナー、認証取得に係る技術指導、国内外展示商談会の出展支援等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「エアロマート名古屋2019」出展支援 期 間：令和元年9月25日～26日 場 所：吹上ホール（愛知県名古屋市） 出展企業：3社1団体（商談件数：78件）</li> <li>「エアロスペースミーティングパリ」出展支援 期 間：令和元年6月18日～20日 場 所：ル・ブルジェ空港(フランス国パリ) 出展企業：3社1団体（商談件数：92件）</li> <li>参入支援セミナー「Nadcapの基礎」 開 催 日：令和元年11月14日 参加人数：19名</li> <li>内部監査員（JISQ9100）養成研修 開 催 日：令和2年2月20日、21日 参加人数：12名</li> </ul>	10,166千円
スマートものづくりコーディネーター	<p>IOT・AI等導入推進のため、コーディネーターを配置し、中小ものづくり企業の現場で助言・指導を行うほか、情報発信等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導入支援数：28社</li> <li>IOT・AIセミナー 開 催 日：令和元年10月29日 場 所：群馬県公社総合ビル 参加人数：84人</li> <li>先進企業視察 開 催 日：令和元年11月8日 場 所：沖データLED統括工場（高崎市） 参加人数：58人</li> </ul>	12,345

#### (2) 海外ビジネス展開支援

決算額 20,444千円

- ① ベトナム社会主義共和国との間で締結した「経済交流に関する覚書」に基づき、同

国での県内中小企業のビジネス展開を支援するため、産業交流祭の開催や企業訪問団の派遣を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
GUNMA-VIETNAM産業交流祭	期 間：令和元年10月4日、5日 実施内容：ビジネス・人材セミナー 文化交流イベント ビジネス・人材セミナー：参加者77人 文化交流イベント：来場者約7,500人	8千円
ベトナム企業訪問団の派遣	期 間：令和元年11月1日～6日 実施内容：政府及び関係機関の訪問 現地企業との訪問型取引先開拓 現地工業系大学での採用説明会 <b>【訪問型取引先開拓】</b> 参加企業：3社 商談件数：4件 <b>【採用説明会】</b> 参加企業：6社 面談学生数：174人	2,159

- ② ジェトロ群馬貿易情報センター及び群馬県産業支援機構と連携した相談体制の充実・強化を図るとともに、ジェトロハノイ事務所に職員を派遣し、海外展開に関する事業者の課題解決を支援した。

区 分	相談件数
ジェトロ群馬貿易情報センターによる相談	684件
群馬県産業支援機構による相談	89

- ③ 輸出に関する基礎知識の習得から実践となる商談会参加までを一貫して体験するパッケージ型の支援を行った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
グローバルビジネス実践塾	期 日：令和元年6月～令和2年3月 参加企業：26社 セミナー等開催：5回 国内商社との商談会： 参加企業14社、商談件数28件（うち成約見込17件） インターナショナルギフトショーin東京出展： 参加企業4社、商談件数71件（うち成約見込40件）	891千円

### (3) 受発注振興対策

決算額

10,917千円

下請取引の受発注のあっせん、経営及び技術指導、情報提供等の事業を行う群馬県産業支援機構への補助を通じ、下請中小企業の経営の安定化を図った。

また、中小企業の受注機会拡大のための商談会開催や見本市等への出展支援を通じて、販路開拓や新たな取引先との交流機会を創出した。

区 分		事 業 内 容	事 業 費
下請中小企業 取引情報提供 等事業費補助	下請あっせん	新規企業登録数：発注企業 0社 受注企業 10 あっせん成立件数：37件	10,917千円
	関東5県ビジ ネスマッチング 商 談 会	期 日：令和元年9月19日 場 所：東京ビッグサイト 県内参加企業：49社 商談件数：307件（開催当日）	
	彩 の 国 ビ ジ ネ ス ア リ ー ナ	期 間：令和2年1月29日、30日 場 所：さいたまスーパーアリーナ 県内参加企業：29社 商談件数：1,020件（開催当日）	
	新 価 値 創 造 展	期 間：令和元年11月27～29日 場 所：東京ビッグサイト 県内参加企業：17社 商談件数：1,638件（開催当日）	

(4) 地場産業総合振興対策

決算額

37,915千円

- ① 本県繊維産業産地の活性化を図るため、「産地組合」や「企業グループ」が行う事業に対して補助を行った。

区 分	事業者数	事 業 内 容	補助金額
繊維産業産地活性化 推進補助	4団体	産地組合等が行う本県繊維製品の販路 開拓、地域ブランド確立及び人材育成 等に対する支援	7,730千円

- ② 産地組合や業界団体、服飾専門学校等と連携し、県内外に「Made in Gunma」の繊維製品の魅力を発信した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
繊維産業の魅力PRイ ベント (Fashionable Gunma)	期 日：令和元年10月11日～13日 会 場：県庁県民ホール 出展企業数：15社 ※台風19号の接近に伴い、ステージイベント は中止	5,643千円

- ③ 新聞紙面やWeb等の媒体を介して県産シルク製品をPRするとともに、本県の優れた産業資源であるシルクの魅力を広く発信することで、県産シルクの振興を図った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
県産シルク製品PR	PR媒体：上毛新聞本紙、特設サイト 日 時：令和2年2月16日 (紙面掲載、サイトオープン)	1,999千円

区 分	事 業 内 容	事 業 費
シルク産業シンポジウム	「シルクシンポジウム」 期 日：令和2年2月22日 場 所：前橋商工会議所 内 容：基調講演、パネルディスカッション、シルク製品の展示・販売 出展企業数：16社 来場者数：約200人	2,560千円

- ④ 首都圏バイヤーとの商取引拡大の場として、都内で食品バイヤーとのマッチングを実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
食品開発コーディネート事業	「ぐんま県産品マッチングフェアin銀座」 期 日：令和2年2月19日 場 所：スタジオプラスジーギンザ 出展企業数：22社（21ブース） 来場者数：77人 商談件数：44件（うち商談成立1件）	7,946千円

- ⑤ イベントの開催や県公式Webサイトの英語版ページ作成により、本県酒造業の振興を図った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
ぐんま酒と食の祭典	「ぐんま酒と食の祭典2019～KANPAI!GUNMA～」 期 日：令和元年10月5日～6日 場 所：ビエント高崎 出展企業数：64社（酒類：27、食品：32、 雑貨：2、酒類販売：3） 来場者数：5,500人	6,000千円
群馬の地酒ブランド力強化推進	県公式Webサイト「水のふるさと群馬の地酒」の英語版ページの作成	1,081

- ⑥ クリエイティブな発想を持つデザイナーと連携して、県内ものづくり事業者の付加価値の高い商品開発を支援した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
Fashionable Gunma 商品プロデュース	実施企業：6社 成果品はJAPAN BRAND FESTIVAL 2020及びグッドデザインぐんま商品展示会内で展示	3,135千円

(5) 伝統的工芸品産業振興対策 決算額 2,293千円

郷土の自然とくらしの中で生まれ、受け継がれてきた伝統的な工芸品の存在を広く県民に認知してもらうため、展示会の開催を通じて、伝統工芸品産業の振興を図った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
群馬県ふるさと伝統工芸品展	期 間：令和元年5月30日～6月3日 場 所：県庁県民ホール 出展品目：33品目 来場者：5,378人	1,975千円

**(6) 産業デザイン振興対策**

決算額 1,368千円

グッドデザインぐんま商品を広く推奨することにより、デザインの振興を図るとともに、企業と学生とのデザインマッチングを開催し、若者の感性を取り入れた県内企業によるものづくりを支援した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
グッドデザインぐんま商品の選定	優れたデザインの商品選定を行い、選定された商品（46点）を展示・販売した。 優秀賞：3点、奨励賞：4点、やすらぎ賞：2点 展示会期日：令和2年1月31日～2月3日 場 所：けやきウォーク前橋 来場者数：10,072人	1,368千円
デザインマッチング	実施企業：6社 参加教育機関：3校（県内） 成果品はグッドデザインぐんま商品展示会内で展示	

**(7) 産業技術センター**

決算額 883,935千円

- ① 県内企業の新製品開発や製品の付加価値の向上に対する支援をより一層充実させるため、試験機器等を整備した。

区 分	機 器 名	事 業 費
産業技術センター整備	高機能電子線マイクロアナライザー	91,905千円

- ② 中小企業が必要とする技術情報の提供を行うとともに、技術者の研究開発能力の向上、技術課題の解決を図るための人材育成に関する研修等を開催した。

区 分	事 業 内 容
技術情報の提供	産業技術センター技術情報「まる得通信」配信：60,604件 科学技術週間協賛行事・講演会 1回 参加者：139人 ホームページによる情報提供（アクセス数：108,915件）
中小企業技術研修	受託研修（5課程）受講者：140人

- ③ 企業からの依頼による受託研究、企業とセンターとの共同研究を実施し、企業の技術開発力の向上を支援した。また、国等からの外部資金を積極的に導入し、実用的な研究開発に取り組んだ。

区 分	実施件数	研究経費
公 募 型 共 同 研 究	8件	28,000千円
受 託 研 究	104	72,998
次 世 代 産 業 創 出 研 究	2	1,000
試 験 ・ 分 析 高 度 化 研 究	10	4,800
国等の競争的資金を活用した研究	9	2,618

以上の実用化を前提とする開発研究に取り組んだ結果、16件の特許出願（県と企業等との共同出願）を行った。

- ④ 技術開発に関する企業からの相談や分析・試験・加工等の依頼試験に応じるとともに、センターが保有する計測機器等を開放し、県内企業の製品開発力、技術力の向上を支援した。

区 分	件 数
技 術 相 談	24,025件
依 頼 試 験	31,429
機 器 開 放	2,783

#### (8) 繊維工業試験場

決算額 320,869千円

- ① 県内繊維関連企業の製品品質管理や製品開発を支援し、県内繊維製品の高付加価値化を図るため、地方創生拠点整備交付金により人間工学評価室、風合い試験機システム、転写捺染機及び全自動平面テストプレス機を整備した。

区 分	整備内容	事業費
繊維工業試験場整備 (地方創生拠点整備交付金)	・人間工学評価室	67,414千円
	・風合い試験機システム	25,520
	・転写捺染機	7,560
	・全自動平面テストプレス機 ほか	3,868

- ② 中小企業が必要とする技術情報をホームページ・情報誌等で提供するとともに、研究発表会・講師派遣・講演会等を行った。また、中小企業の人材育成のための研修を行った。

区 分	事業内容
技術情報の提供	ホームページによる情報提供（アクセス数：5,156件） 「せらい技術情報」等の発行（延べ31回）
発表会等	研究発表：13回、講師派遣：21回、講演会等：7回
人材育成	専門技術研修（2課程） 受講者：計13人

- ③ 企業と県で研究経費を負担し合う公募型共同研究、企業からの依頼による受託研究、国等の外部資金を活用した外部資金研究及び企業、大学等との共同研究を行い、企業の技術開発力の向上を支援した。

区 分	件 数	研究経費
公 募 型 共 同 研 究	3件	2,000千円
受 託 研 究	9	3,960
外 部 資 金 研 究	5	8,480

- ④ 企業のニーズに応じて、繊維製品に関する物理試験・化学試験をはじめ分析、加工、分解などの依頼試験等を行い、繊維業界の製品開発力・技術力の向上を図った。また、企業の抱える様々な技術問題に対応するため技術相談を行った。

区 分	件 数
依 頼 試 験 等	3,470件
技 術 相 談	4,114

## 4 次世代産業費

### (1) 次世代産業振興

決算額 41,383千円

- ① 次世代産業振興戦略会議運営

平成23年5月に設立した「群馬県次世代産業振興戦略会議」において、役員会の開催は見合わせた。重点産業6分野に係る部会活動では、企業の研究開発の端緒となる講演会及びマッチング等を実施した。部会活動を通じ、次世代産業分野に参入する

ための課題や今後の市場性について、参加者の理解を深めた。

令和2年3月31日現在の会員企業数は909。入会は随時受け付けており、会員企業数は増加している。

区 分	事 業 内 容
重点産業6分野（次世代自動車、ロボット、医療・ヘルスケア、環境・新エネルギー、観光、コンベンション関連）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会活動：計40回 （講演会、マッチング、展示会出展等）</li> <li>・参加者：1,251人</li> </ul>

② 次世代自動車産業参入支援

次世代自動車関連技術への県内企業の参入を支援するため、最新技術の情報提供や、コーディネーターによる県内外企業とのオープンイノベーションの推進を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
次世代自動車最新動向セミナー	期 日：令和元年11月6日 参加者：43人 期 日：令和2年1月22日 参加者：40人	12,630千円
ぐんまオープンイノベーション交流会	期 日：令和元年11月7日 参加者：22人	
ぐんまオープンイノベーションスクラム	期 日：令和2年2月7日 参加者：28人	

③ E V 関連技術人材育成

E V の構造や特徴を理解し、バッテリーやモーター等の重要な技術の基礎を有する人材の育成講座を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
E V 関連技術人材育成講座 （基礎編、全5回）	期 日：令和元年6月～7月 参加者：延138人	6,896千円
E V 関連技術人材育成講座 （応用編、全7回）	期 日：令和元年9月～10月 参加者：延44人	
対話型 E V セミナー	期 日：令和元年10月28日 参加者：延30人	

④ ロボット導入促進

製造現場やサービス現場へのロボット導入を支援するため、ロボット導入に関するシステム構築や設計を担う人材の育成講座、機運醸成のセミナー、コーディネーターによる導入支援、専門展示会出展支援等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
産業用ロボット導入支援セミナー	期 日：令和元年9月20日 参加者：87人 期 日：令和元年10月16日 参加者：29人 期 日：令和元年11月19日 参加者：60人 期 日：令和2年2月14日 参加者：30人	4,141千円



区 分	事 業 内 容	事業費
システムインテグレーター基礎講座 (全4回)	期 日：令和元年9月 参加者：15人	
システムインテグレーター育成講座 (全4回)	期 日：令和2年1月 参加者：20人	
専 門 展 示 会 出 展 支 援	期 日：令和元年10月2日～4日 出展者：6社 期 日：令和元年12月18日～21日 出展者：6社	7,118千円

⑤ ロボット導入実証

県内中小企業による産業用ロボットシステムの導入に向けたシミュレーション（導入検討）を支援した。

区 分	事業者数	対象事業費	補助金額
ロボット導入調査支援補助	4社	8,040千円	4,000千円

(2) 産学官連携推進

決算額

100千円

大学の優れた研究成果の産業分野への導入、企業の持つ高度な技術力の発信等、本県産業の発展基盤強化に向けて、産学官金連携の機運醸成及び産学の交流を推進した。

区 分	事 業 内 容
群馬産学官金連携推進会議 (共催事業として開催)	期 日：令和元年10月21日 場 所：前橋商工会議所 主 催：群馬大学、前橋工科大学、 前橋商工会議所 参加者：257人

(3) 医療・ヘルスケア産業振興

決算額

23,902千円

① 群馬がん治療技術総合特区の推進

総合特区に対する国の支援制度を活用し、本特区で掲げるプロジェクトを推進したほか、本県発の医療機器の開発や異業種からの新規参入を積極的に支援した。

② 医療産業推進

医療機器産業への参入や新製品開発を目指す企業に対し、市場動向や法規制、参入事例等を体系的に習得できるセミナー等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
医療機器ビジネス参入セミナー	期 日：令和元年6月18日 参加者：33社	1,025千円
医療機器開発事業化実践塾 (全6回)	期 日：令和元年7月～令和2年2月 参加者：29社	

③ 医療機器等マッチング促進

県内ものづくり企業の医療機器産業への参入促進・販路拡大のため、県内外の専門展示会や学会等への出展を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
メディカルクリエーションふくしま2019	期 日：令和元年11月27日・28日 参加者：5社	3,106千円
群馬県臨床工学技士会学術大会	期 日：令和元年7月28日 参加者：3社	
群馬県看護学会	期 日：令和元年11月13日 参加者：10社	

## 5 コンベンション推進費

### (1) コンベンション推進

決算額 311,680千円

#### ① コンベンション施設の開所準備

「Gメッセ群馬」を広く県内外にPRするため、令和元年11月からJR高崎駅新幹線ホームに新デザインの看板広告を掲出、令和2年1月から同デザインのポスターを県と包括連携協定を締結している群馬銀行、とりせん、ベイシアなどを中心に、800枚以上を配布した。このほか、知事、県職員が出演したプロモーション動画を3月から、YouTube等にて配信した。

区 分	話 数	視聴回数(令和2年6月末現在)
Gメッセ群馬 プロモーション ショートムービー	予 告	約6,500 回
	第1話	8,700
	2	4,500
	3	2,800
	4	2,600
	メイキング	1,600
	合 計	26,700

#### ② コンベンションの誘致推進

県内全域へコンベンションを誘致するため、県内外の主催者に対し誘致活動を行ったほか、展示商談会等への出展、専門誌への広告掲載をした結果、256件のコンベンションを誘致した（令和元年度末時点。平成28年度からの累計）。

また、県内のコンベンションに対する気運醸成を図るため、地域セミナーの開催や県内経済団体が開催する会議等で説明を実施した（実績：92件、延べ5,307名）。

#### ③ コンベンション産業の振興

コンベンション産業支援コーディネーターを中心に、主催者等と県内事業者とのマッチングを支援するとともに、事業者のスキルアップやネットワーク形成を支援するため、セミナー及び交流会を開催した。

また、平成30年12月にコンベンションパートナー制度を創設し、制度創設後311社の登録があり、パートナー企業向けにセミナーを3回実施するとともに、Gメッセ群馬の建設状況に応じて、現場研修を2回実施した。

区 分	事 業 内 容
コンベンション事業者支援セミナー	期 日：令和元年6月12日 参加者：90人 期 日：令和元年6月19日 参加者：61人 期 日：令和元年11月14日 参加者：69人
Gメッセ群馬現場研修（2回）	期 日：令和元年7月23、30日 参加者：114人

## (2) コンベンション施設整備

決算額 14,643,601千円

本県の優れた拠点性を活かして、県内産業のさらなる発展や新たな産業の創出を図ることを目的に、約10,000㎡の展示ホールと最大17室の会議施設を一体とした群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」が令和2年3月に完成した。

令和元年度は、前年度に発注した施設の建設工事を引き続き進め、会議・展示施設については、工期を2ヶ月延期したが年度内に完成することができた。併設する立体駐車場についても年度内に完成した。

また、緑道整備工事を発注したが、会議・展示施設の工期延期に伴い、一部の工事において繰り越しとなった。また、埋蔵文化財発掘調査の出土品の整理業務を進め、事業用地の整理を進めた。

### ・Gメッセ群馬施設概要

区 分	会議・展示施設	立体駐車場
構造・規模	鉄骨造・地上4階建て	鉄骨造・5層6段
延べ床面積	32,724.52㎡	34,593.69㎡
最高高さ	28.40m	17.10m

## 6 観光物産費

### (1) 国際観光県ぐんま

決算額 63,374千円

#### ① セールスプロモーション

東アジア・東南アジア・オーストラリアなどに対して本県の魅力を宣伝するため、旅行博出展や商談会参加、旅行会社訪問、教育関係者訪問等のプロモーション事業と招請事業を下記のとおり実施した。

区 分	実施年月日	内 容
上海旅行博出展	平成31年 4月17～21日	旅行博出展（上海事務所）
台湾・韓国・香港・星国・マレーシア 旅行会社招請	令和元年 5月11～15日	旅行会社招請
ニュージーランド商談会参加	令和元年 5月22～24日	商談会参加・旅行会社訪問
オーストラリア旅行博出展	令和元年 5月25～28日	旅行博出展・旅行会社訪問
中国旅行会社等招請	令和元年 9月17～20日	スキー関係旅行会社等招請
中国ブロガー招請	令和元年 9月27～30日	微博インフルエンサー招請
台湾商談会開催	令和元年9月29日～10月2日	商談会開催・旅行会社等訪問
中国ブロガー招請	令和元年11月29日～12月2日	微博インフルエンサー招請

区 分	実施年月日	内 容
マレーシア有識者招請	令和元年12月16～17日	在京有識者招請
中国旅行会社招請	令和2年1月6～8日	スキー関係旅行会社招請
台湾旅行会社招請	令和2年1月14～16日	旅行会社招請
オーストラリア旅行会社招請	令和2年2月25～29日	スキー関係旅行会社招請

このほか、群馬県観光物産国際協会が実施する、東アジアの観光客誘客事業に補助を行った。

② 情報収集・発信

英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・タイ語の5言語でのホームページ及びfacebookページ4言語（簡体字を除く）、インスタグラム（英語）の運用を行い、本県の観光情報を発信した。

③ 広域連携誘客促進

ア 北関東磐越五県広域観光推進協議会

茨城県、栃木県、新潟県、福島県及び群馬県の5県で連携して、次の事業を実施した。

区 分	実施年月日	うち県内視察
中国ブロガー招請	令和元年12月4～8日	12月6～8日

イ 北関東三県広域観光推進協議会

茨城県、栃木県及び群馬県の3県で連携して、次の事業を実施した。

区 分	実施年月日	内 容
香港旅行博出展	令和元年6月13～16日	旅行博出展
台湾商談会・旅行会社訪問	令和元年9月24～28日	商談会開催・旅行会社訪問

ウ 埼玉県、新潟県及び群馬県の3県で連携して、次の事業を実施した。

区 分	実施年月日	うち県内視察
メディア招請	令和元年6月22～7月1日	6月29日～7月1日
シンガポール旅行博出展・旅行会社訪問	令和元年8月1～6日	
シンガポールブロガー招請	令和元年10月3～7日	10月4～5日

エ 埼玉県、長野県及び群馬県の3県で連携して、次の事業を実施した。

区 分	実施年月日	うち県内視察
台湾メディア招請	令和元年9月30～10月4日	10月1～4日

オ 北陸新幹線沿線の自治体と連携して、次の事業を実施した。

区 分	実施年月日	内 容
マレーシア旅行博出展	令和元年11月21～27日	旅行博・商談会・旅行会社訪問
タイ旅行博出展	令和2年1月14～21日	旅行博・商談会参加

カ 埼玉県と連携して、次の事業を実施した。

区 分	実施年月日	内 容
台湾訪日教育旅行参加	令和元年10月29～11月2日	交流会参加・関係者招請

④ 海外情報翻訳発信

観光情報の収集・翻訳・発信等を行う嘱託職員を雇用し、facebookページ、メルマガ、ホームページや各種プロモーション資料等多言語での本県観光情報発信を行った。

(2) 観光宣伝

決算額

137,539千円

本県の観光イメージアップと観光客の増加を図るため、県内の観光資源をPRするぐんま観光マップの作成・配布を行った。

また、スタンプラリーとクーポン機能を付した周遊観光パスポート事業の実施による県内周遊観光の促進や、山と歴史のぐんま観光事業による稜線トレイルや世界遺産・東国文化など群馬の観光資源を活用した旅行商品の開発支援などに取り組んだ。

① 観光宣伝資料作成

区 分	作成部数	事業費
ぐんま観光マップ	155,000部	3,921千円

② 観光宣伝推進

区 分	事業内容	事業費
ぐんま観光おもてなし	ぐんまちゃんやぐんまコンシェルジュが県内外のイベント等において観光PRを実施	21,351千円
周遊観光パスポート	スタンプラリーとクーポン機能を付した「心にググっとぐんまちゃんパスポート」を発行	23,464
山と歴史のぐんま観光	稜線トレイルや世界遺産・東国文化など、群馬のブランド確立にもつなげる旅行商品の開発支援など	16,292
国内広域連携	栃木、茨城の北関東3県、埼玉・新潟県の3県、北関東磐越5県の連携により、観光PRなどの誘客促進	4,895

(3) 千客万来支援

決算額 106,290千円

ワンランク上の観光地を実現するため、市町村等が取り組む企画力の優れた観光振興事業に対し重点的に支援した。

- ・補助率1/2以内（ハード事業のみ財政力指数0.75以上の市町村に対しては1/3以内）

※交付先の（ ）内は事業件数

事業(補助メニュー)	件数	補助金額	交 付 先
国際観光推進	27	24,550千円	群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合、前橋市、前橋観光コンベンション協会、榛東村、渋川市(2)、渋川伊香保温泉観光協会、高崎市、安中市、上野村、富岡市、下仁田町、下仁田町観光協会、南牧村、中之条町、四万温泉協会、長野原町、浅間山ジオパーク推進協議会、沼田市、片品村、昭和村(2)、みなかみ町、みなかみ町デスティネーションキャンペーン実行委員会、みなかみ町観光協会(2)、みどり市
ビジタートイレ推進	6	19,980	高崎市、藤岡市、中之条町、昭和村、太田市、みどり市
地域資源活用推進	9	19,780	前橋市、渋川市(2)、渋川伊香保温泉観光協会、藤岡市、上野村、片品村(2)、みなかみ町観光協会

事業(補助メニュー)	件数	補助金額	交付先
観光施設リニューアル	15	32,370	前橋市(3)、前橋市公園管理事務所、吉岡町、藤岡市(3)、神流町、甘楽町、中之条町、沢渡温泉組合、長野原町、嬭恋村、東吾妻町
観光客周遊化支援	5	6,930	安中市、富岡市、片品村観光協会、みなかみ町観光協会、みなかみ町観光協会藤原支部
歴史文化遺産活用推進	2	2,280	藤岡市、富岡市
ぐんまの山誘客促進	1	400	川場村
計	65	106,290	

(4) ぐんまビジタートイレ認証 決算額 927千円

本県を訪れる観光客が使いやすいトイレを「ぐんまビジタートイレ」として認証し、きれいなトイレを確保することにより、県内観光地のイメージアップと集客を図った。

- ・新規認証 3件(第17期)
- ・更新認証 139件(第1期23件・第3期24件・第5期5件・第7期3件  
第9期5件・第11期64件・第13期7件・第15期8件)

(5) 群馬デスティネーションキャンペーン 決算額 119,876千円

JRグループと地元自治体が一体となって行う「群馬デスティネーションキャンペーン」(令和2年度開催)に向け、プレキャンペーンを実施したほか、本番に向けた準備を行った。

区分	事業内容	事業費
群馬デスティネーションキャンペーン	ググっとぐんま観光宣伝推進協議会負担金	119,876千円

(6) 物産振興対策 決算額 4,408千円

県産品の普及と品質向上を図るため、(公財)群馬県観光物産国際協会と連携し、県内の百貨店を活用した観光物産展を開催し、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。

また、県産品の掘り起こしやPR、販路拡大のため、県内外の物産展を活用したPRや食品商社の商談会に参加したほか、本県を代表する「近代こけし」について展示販売を行うなど県内物産の振興を図った。

区分	事業内容	事業費
県主催物産展開催	県産品の認知度を高めるため、群馬の物産を一堂に集めた物産展を開催 ・開催回数 3回 高崎高島屋、スズラン高崎店、スズラン前橋店	千円
食と土産の魅力向上	県産品の魅力向上と掘り起こし、販路拡大を図るため、商談会への参加や県内外物産展でのPRを実施	933

区 分	事業内容	事業費
全群馬近代こけしコンクール	こけしの品質、意匠の改良及び技術の向上を図り、本県の「近代こけし」産業の振興発展に寄与するため、「第60回全群馬近代こけしコンクール」を開催 (受賞作品数) ・第1部 創作こけしの部 19作品 (内閣総理大臣賞含む) ・第2部 新型こけし及び木地玩具の部 (市場性のあるもの) 15作品 ・第3部 木地玩具の部 1作品 ・第4部 一般の部 (アマチュアの作品) 3作品	210千円
北関東三県物産展	北関東3県及び金融機関と連携し、首都圏において観光物産フェアを実施	3,000

(7) 群馬県観光物産国際協会に対する支援 決算額 65,767千円

① 観光振興・観光宣伝

県内外における観光展等の開催やインターネットを活用した観光情報の発信、首都圏の旅行者やマスコミ業者向けのPR活動等を実施することにより、本県への誘客を促進した。

② 物産振興

県内外の物産展の開催やぐんまの通販サイト「CASAぐんま」の運営、「ぐんまカタログギフト」の制作などにより、本県物産の紹介・宣伝や販路拡張に努めた。

③ 観光施設

県立赤城公園内施設、県立榛名公園内施設の管理・運営事業等を行い、利用者のサービス向上に努めた。

④ 宿泊斡旋

宿泊斡旋や企画商品の開発販売、誘客及び送客に努めた。

(8) 大阪事務所運営 決算額 9,909千円

関西圏において、群馬のイメージアップや誘客促進のため、本県の魅力ある観光地や特産物などを効果的に宣伝したほか、企業誘致活動等を実施した。

区 分	件 数	内 容
観光展・物産展開催	41回(延べ303日)	イベント開催、観光案内
観光・物産案内状況	4,956人	来所、電話
企業誘致情報収集	84件	企業訪問、企業誘致関連活動

(9) 群馬県域DMOの推進 決算額 13,877千円

様々な関係者と連携した観光地域づくりを進めるため、群馬県域DMOである(公財)群馬県観光物産国際協会により、以下の事業を実施した。

事業名	内 容
観光調査分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビッグデータ調査 観光客の動態を調査・分析するため、県内60箇所の観光スポット調査のほか、プレデスティネーションキャンペーン結果調査を実施した。</li> <li>・観光客ニーズ調査 ビッグデータでは把握できない観光客の動向を把握するため、Webアンケートを実施した。</li> <li>・マーケティング基礎調査 SNSを活用した観光行動調査を実施した。</li> </ul>
中核人材育成	<p>地域に新しい観光のかたちを提案し、自らプロデュースできるクリエイティブな人材を育成するための「ぐんま観光リーダー塾」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レギュラーコース 開催日：令和元年10月19日、11月9日、11月16日、11月29日、11月30日、12月17日、令和2年1月25日、2月15日（全8回） 内 容：観光まちづくり 講 師：高砂樹史氏（長野県DMOアドバイザー） 渡邊俊氏（（一社）KING OF JMK）等</li> <li>・アドバンスコース レギュラーコース修了者を対象に、観光まちづくり戦略の実践的な内容を学ぶ「アドバンスコース」を開催した。 開催日：令和元年10月19日、12月7日、2月15日 個別メンタリング等2回（全5回） 内 容：メンタリングを含めた思考と実践 講 師：高砂樹史氏（長野県DMOアドバイザー）</li> </ul>
地域DMO推進	<p>地域DMO等（（公財）前橋観光コンベンション協会、NPO法人赤城自然塾、NPO産業観光学習館、みなかみSDGs観光地域づくり検討会）と連携して、観光プログラムづくりや人材育成などの各種協同事業を実施し、観光地域づくりの支援を行った。</p>
テーマ別ワーキンググループ	<p>県内各地の観光に関する課題等を共有するとともに具体的な施策提案を行うため、観光従事者等で構成するワーキンググループ会議を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DMO連携ワーキング会議 開催日：令和元年7月5日 内 容：e-Bike体験、地域DMOの取組共有 等</li> </ul>